



ヤマトシジミ
 ①平塚市高浜台 ②2020年8月下旬
 ③石井律有



岸同定
ツマグロヒョウモン蛾
 ①平塚市北金目 ②2020年6月下旬
 ③金森奏



岸同定
ツマグロヒョウモン終齢幼虫
 ①平塚市高浜台 ②2020年8月上旬
 ③石井律有



スミナガシ
 ①山北町中川 ②2020年8月中旬
 ③相澤るか

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



外来
アカボシゴマダラ (名義タイプ亜種)
 ①平塚市調馬町 ②2020年7月上旬
 ③榎澤永人

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



外来
アカボシゴマダラ (名義タイプ亜種)
 ①愛川町半原 ②2020年8月下旬
 ③小松稜亮

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



外来
アカボシゴマダラ (名義タイプ亜種)
 ①平塚市岡崎 ②2020年8月下旬
 ③海老澤顕寿

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



ヒメウラナミジャンノメ
 ①秦野市羽根 ②2020年7月下旬
 ③小松稜亮



岸同定
キンケハラナガツチバチ♀
 ①平塚市岡崎 ②2020年8月下旬
 ③海老澤顕寿



危
セグロアシナガバチ
 ①平塚市大原 ②2020年8月中旬
 ③田川楓



危
岸同定
コガタスズメバチ
 ①平塚市北金目 ②2020年6月中旬
 ③高村葵一・耕太郎



クモ網
アシカグモ卵囊・幼体
 ①平岡幼稚園 園舎
 ②2020年7月上旬 ③河野颯太郎



アシカグモ
 ①平塚市岡崎 ②2020年8月中旬
 ③海老澤顕寿



ジヨウウグモ♀幼体
 ①平塚市北金目 ②2020年8月上旬
 ③小松稜亮



甲殻類
外来
アメリカザリガニ
 ①平塚市真田 ②2020年6月中旬
 ③安藤和人

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



外来
アメリカザリガニ
 ①平塚市北金目 ②2020年6月下旬
 ③小松稜亮

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



外来
アメリカザリガニ
 ①平塚市河内 ②2020年7月中旬
 ③石井律有

神奈川県版要注鳥獣害防除種別リスト



サワガニ幼体
 ①秦野市曾屋 ②2020年6月上旬
 ③鶴田彩乃



サワガニ♂
 ①平岡幼稚園 園庭
 ②2020年6月中旬 ③相原文太



サワガニ幼体
 ①平岡幼稚園 平岡の森
 ②2020年7月中旬 ③小清水梨央



サワガニ幼体
 ①平岡幼稚園 平岡の森
 ②2020年7月中旬 ③菅松想太



サワガニ幼体
 ①平岡幼稚園 平岡の森
 ②2020年7月中旬 ③中村奏心



サワガニ
 ①秦野市曾屋 ②2020年8月上旬
 ③石井律有



サワガニ♀
 ①平岡幼稚園 平岡の森
 ②2020年8月下旬 ③井上璃乃



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園 平岡の森
② 2020年8月下旬 ③ 後藤基



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園 平岡の森
② 2020年8月下旬 ③ 菱田乃愛



サワガニ幼体

① 平岡幼稚園 平岡の森
② 2020年8月下旬 ③ 豊島樹



スナガニの仲間 (同定：一寸木肇先生)

① 平塚市高浜台 ② 2020年8月下旬
③ 石井律有



ヒライソカニ幼体

① 藤沢市江の島 ② 2020年7月下旬
③ 藤井瑛人



ホシヤドカリ (同定：一寸木肇先生)

① 藤沢市江の島 ② 2020年7月下旬
③ 藤井瑛人



環形動物

ウマビル

① 平塚市北金目 ② 2020年6月中旬
③ 小松稜亮



貝類

ウスカワマイマイ

① 平岡幼稚園 園庭
② 2020年6月下旬 ③ 島津莉乃



ウスカワマイマイ

① 平塚市西八幡 ② 2020年7月中旬
③ 森山創太



ウスカワマイマイ

① 平塚市岡崎 ② 2020年8月中旬
③ 海老澤頼寿



ミスジマイマイ

① 平塚市西八幡 ② 2020年7月下旬
③ 元野愛菜



ミスジマイマイ

① 秦野市曾屋 ② 2020年8月上旬
③ 石井律有



外来
スクミリンゴガイ (産卵)

① 平塚市河内 ② 2020年7月中旬
③ 石井律有



ヨメガカサ

① 藤沢市江の島 ② 2020年7月下旬
③ 藤井瑛人



棘皮動物

ムラサキウニ

① 藤沢市江の島 ② 2020年7月下旬
③ 藤井瑛人



外来
コイ

① 平塚市真田 ② 2020年7月上旬
③ 一瀬和太



ドジョウ

① 平塚市北金目 ② 2020年7月下旬
③ 小松稜亮



ドジョウ

① 平塚市河内 ② 2020年8月中旬
③ 石井律有



県レッドデータブック2006
準絶滅危惧

ヒガシシマドジョウ

① 秦野市曾屋 ② 2020年8月上旬
③ 小松稜亮



外来
カワムツ

① 平塚市南金目 ② 2020年8月上旬
③ 山本侑樹・壮真



シマヨシノボリ

① 平岡幼稚園 園庭
② 2020年6月上旬 ③ 小澤瑞穂



クサヤク

① 平塚市千石河岸 ② 2020年7月中旬
③ 藤井瑛人



両生類

ニホシアマガエル

① 平塚市豊田 ② 2020年6月上旬
③ 原咲優菜・叶大



ニホシアマガエル

① 平塚市北金目 ② 2020年6月下旬
③ 山田衛



ニホンアマガエル
①平塚市南金目 ②2020年7月下旬
③猪俣篤人



ニホンアマガエル
①平岡幼稚園 園庭
②2020年7月下旬 ③横山巧



ニホンアマガエル
①平塚市北金目 ②2020年8月中旬
③高村耕太郎



ニホンアマガエル
①平岡幼稚園 園庭
②2020年8月下旬 ③番家燦咲



岸同定
カシカガエル
①秦野市曾屋 ②2020年6月上旬
③鶴田彩乃



岸同定
ツチガエル
①平塚市南金目 ②2020年8月下旬
③山本侑樹・壮真



アズマヒキガエル
①箱根町元箱根 ②2020年8月上旬
③清水美結



アズマヒキガエル
①平塚市大原 ②2020年8月下旬
③石井律有



爬虫類
アオダイショウ
①平塚市真田 ②2020年6月上旬
③石川大翔



爬虫類
アオダイショウ
①厚木市飯山 ②2020年6月上旬
③小松稜亮



ニホンカナヘビ
①平岡幼稚園 園庭
②2020年6月中旬 ③木村悠人



ニホンカナヘビ
①平塚市北金目 ②2020年6月下旬
③山田衛



ニホンカナヘビ幼体
①平塚市北金目 ②2020年8月中旬
③高村葵一



ヒガシニホシトカゲ幼体
①平塚市真田 ②2020年7月下旬
③加藤焜太



ヒガシニホシトカゲ幼体
①平塚市北金目 ②2020年7月下旬
③田川楓



ヒガシニホシトカゲ幼体
①平塚市高浜台 ②2020年8月上旬
③石井律有



ヒガシニホシトカゲ幼体
①秦野市羽根 ②2020年8月下旬
③小松稜亮



ニホンヤモリ
①平塚市岡崎 ②2020年7月下旬
③佐野愛子



外来
ミシシッピアカミミガメ
①平塚市大原 ②2020年8月下旬
③石井律有



植物
アメリカオニアザミ
①平塚市北金目 ②2020年6月下旬
③田川楓

創刊号からの種名検索ができる「みんなで作る生きもの図鑑 索引」、訂正がまとめられた「訂正履歴一覧表」は、平岡幼稚園 HP からダウンロードできます。

お知らせ

神奈川県 生きもの写真募集!

一般の方からの投稿も大歓迎です。種名が分からなくても OK。写真と「いつ」「どこで」「だれが」を添えて下記アドレスまでお気軽にお送りください。 ikimono@hiraoka-kg.com

※ 見つけた生きものは、可能であればアングルを変えて複数枚撮影してください。種名の判別がしやすくなります。
※ 画像はリサイズせずにお送りください。





きょうも
シラホシハナムグリ
がたくさいる
ね!!

2020年7月 平塚市内でのシラホシハナムグリ調査

地域の自然を知ろう!守ろう!伝えよう!

A 平岡幼稚園

アクション レポート

Action Report

2020.6月~8月 夏

新型コロナウイルスの影響により、しばらくの間は活動に制限がかかりそうですが、地域の自然のために、各自ができる事をできる範囲で、実践していきたいと思っております。

シラホシハナムグリ調査

神奈川県で絶滅したはずのシラホシハナムグリが大量に発見されました。

P1でも紹介しましたが、今夏に平塚市内の街区公園で大量のシラホシハナムグリが見つかりました。最初に発見したのは平岡幼稚園 卒園児の相澤君で、その後も、さまざまな方の協力を得て、市内外で調査を進めてきました。

その結果、500個体以上が集まりましたが、シラホシハナムグリは、同属のシロテンハナムグリと外見がとても似ているため、間違いがないように神奈川県昆虫談話会の高橋和弘幹事に同定をお願いしました。

調査の結果は、神奈川県昆虫談話会が発行する機関誌「神奈川県虫報」にて報告します。



大量のシラホシハナムグリを見つけ平岡幼稚園に持って来てくれた相澤君



樹液に集まるシラホシハナムグリとシロテンハナムグリ

三浦半島昆虫研究会で講演

「幼稚園児が行う昆虫調査」をテーマにお話しました。



コロナ禍により、会員限定の例会(一般公開は無し)でしたが、多くの諸先輩方に聞いていただくことができました。



感染防止対策で資料の回覧ができなかったため、別刷や湘南自然誌を希望者に配布しました。

2020年8月16日(日)、横須賀市自然・人文博物館で開催された三浦半島昆虫研究会の例会にて、「幼稚園児が行う昆虫調査」をテーマに講演をしてきました。

内容は、2015年~継続して行っている県内のハルゼミ調査、2014~2018年に行った平塚市内のセミのぬげがら調査の他に、園児らが発見した地域の生物に関する新知見についての報告や、本誌の出版活動などについてです。

「講演」というよりも「平岡幼稚園の取り組みの発表」といった感じではありましたが、幼稚園児でも工夫次第では、学術的な知見の蓄積が行えることについてお話をしました。



会場となった横須賀市自然・人文博物館



集団越冬中のムラサキツバメ

心が育つ 幼児教育

第2回



露木 和男 先生 Profile

1949年、福岡市生まれ。福岡教育大学卒業後、小学校教員を経て早稲田大学教育・総合科学学術院教授に就任。教員を目指す大学生に、理科の面白さや自然観察の楽しさを伝える。2016年秋学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞受賞。2020年3月、定年により退職。

著書に、『小学校理科 授業の思想—授業者としての生き方を求めて—』（不昧堂出版）、『ワールドサイエンスのすすめ—自然で学び、科学の好きな子に育てる—』（早稲田大学出版部）、『やさしき』の教育—センス・オブ・ワンダーを子どもたちに』（東洋館出版社）など多数。

虫を愛する子と 「やさしき」②

文・写真 露木和男

私は小学生の頃、昆虫少年でした。明けても暮れてもチョウやトンボを追いかけていました。その経験が大人になってから教師という仕事に役立ったと思うことがたくさんあります。

その一つは、ワクワクする気持ちを忘れなかったこと。たくさんの種類のいる昆虫には、美しいもの、不思議な生き方をするもの、見事に擬態するものなどいっぱいあります。知れば知るほど昆虫の世界は不思議さや驚きに満ちていました。教師の仕事も同じでした。子どもたちの可能性の素晴らしさに満ち満ちていました。授業が楽しければ、子どもたちは目に見えて成長していきました。昆虫の世界の不思議さを探究することの楽しさと、授業をどう工夫するかという楽しさは、私の中では同じだったのです。「ワクワクする」気持ちほどのような仕事であってもその人間の「探究心」を創っていくのだと思うのです。

と同時に、その探究の過程で出逢う多くの困難にどう対処するかも学ぶことができました。昆虫の世界を知ろうとしてもこちらの思い通りにはいかないことが多いのです。相手には相手の論理があり、こちらの都合よくことは運ぶことはむしろ稀です。

授業での工夫も同じです。相手は人間の子どもです。こちらの思い通りに行くはずありません。昆虫の世界を知ろうとするのは、相手の世界に共感しようとする事なのです。子どもへの共感を大事にする教育の世界も、それは全く同じなのだと感じました。

なんとなく似ているけど、まったく違うグループの生きもの絵が1枚混じっています。わかるかな？ ヒントは欄外。（答えは裏表紙にあります）

知育ゲーム 第2回

なかまはずれはどれ？

出題：編集部 画：富岡誠一

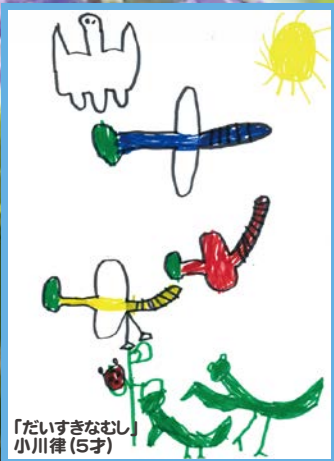


ヒント：ひとつだけ臭いにおいを出す虫がいるよ。

絵画投稿コーナー

おえかきひろば

自分が感じた自然の楽しさや不思議を絵に描いてみんなに伝えてみよう！



生きもの絵画大募集！

※ 表紙絵の選考は未就学児が対象となります。

A4・縦向きで裏に題名・氏名・年齢を書いて平岡幼稚園まで



背景写真：平塚海岸のハマゴウ

表紙絵は、平岡幼稚園の教職員で協議を行い選出しました。

